

よつばの手紙



特集 おうめの若者たち

特集
相談窓口案内
行ってきました
市内企業しポート
さんかく図書室
青梅市ジェンダー平等推進計画



特集

おうめの若者たち



若者たちで構成される団体「おうめ若者カフェ」と「ゆめなりき」。普段なかなか知ることのできない2団体について、「おうめ若者カフェ」から藤田佳孝さん、「ゆめなりき」から池田亜希さんと橋島安さんにお越しいただき、活動の様子と特徴をうかがいました。

(2022年12月18日 青梅市役所でインタビュー)

■活動のきっかけは？



市内に若者が中心となって活動している団体がない、と市の職員から話があったのがきっかけです。最初の3年間は市と協働で活動し、独立して今の形になりました。



「衰退する成木地区を盛り上げたい」というビジョンを持った人たちが声をかけ合って集まるなかで、成木地区の盆踊りがなくなることを知り、盆踊りを継続させる活動をしたことがきっかけです。

■団体の年齢層は？



団体規約で所属年齢は39歳までとなっていて、18歳から39歳のメンバーが活動しています。青梅宿アートフェスティバルのステージ出演とハンドメイド作品の展示即売会も39歳以下の人に声をかけています。



30代から50代と幅広い年齢層で活動を開始しました。それぞれ仕事やプライベートを優先しながら無理なく活動しています。

■活動する中で年上の世代との関わり方を教えてください



ジェネレーションギャップを感じたことはありません。青梅宿アートフェスティバルのステージを任せてくれている地元商店会の勝沼東栄会の人たちには、若者の活動にきっかけを与えてくださってありがたいという気持ちです。困ったことがあれば相談もできる良い関係です。



こちらの3人に話をうかがいました。



おうめ若者カフェ
代表 藤田佳孝さん



ゆめなりき
池田亜希さん、ならしま やすし 檀島 安さん



新しいことを始めるとき、困ったことがあったときはアドバイスをもらったり、連絡を密にしてわだかまりが生じないようにしています。見守ってもらったり手伝ってもらったりと家族のような関係です。

■若い人が中心の団体ならではの特徴は？



活動の様子をSNSで発信しています。ホームページ、公式LINEアカウントも作りました。コロナ禍で思うように活動できなかったときは、今できることは何かを考え、青梅の魅力をYouTubeで動画配信しました。動画配信は初めての経験でしたが、やってみようとチャレンジしました。近隣の高校や中学生にネットワークがあるのも強みだと思います。身近にいる若者に声をかけ、アートフェスティバルのステージで演奏してもらったら「今まで発表の機会がなかったからうれしい」と喜んでもらえました。2022年のアートフェスティバルでは芸術文化の原点に戻り、絵を描くことが好きな中学生の作

品や、缶バッジなどハンドメイド作品の販売を行いました。



Facebookを活用しています。そのことを成木地区の人たちも知っているので、地域の防災情報を発信して欲しいと頼まれることもあります。以前、降雪予報が出たときに、消火活動に支障が出ないようにと消火栓・防火水槽周辺の雪かきの協力をFacebookで呼びかけたことがあります。私たちは自治会に顔を出さない世代なので、人手がない所の頼まれごとの仲介役になることもあります。トレイルラン大会など地域で行われるイベントにはボランティアとして参加しています。成木地区は広いのでボランティアに参加すると地域の人の顔が見えるようになり、そこから交流が生まれます。コロナ禍でゆめなりきの盆踊りができなかったときはその年の余剰資金でマスクを買い、自治会への加入・未加入関係なく成木地区全世帯に配布しました。各自治会が快く協力してくれ、2日で配り終えることができました。

どちらの団体も、年上の世代とのつながりを大切にしているのが印象的でした。

若い世代が地域で活動することで青梅に活気をもたらし、同世代は活動の主体にはなくてもイベントに参加するだけで刺激を受けると思います。

どちらの団体もSNSなどを利用して活動内容や青梅の魅力を発信しています。ぜひご覧ください。

※ババコン…70代以上のシニア世代と若者世代のつながりを創出するためにおうめ若者カフェが考案したイベント。シニア世代がモデル、若者世代がそのスタイリストとなるファッションショー

イベントにはふらっと遊びに来てください！
団体メンバーだけではなくイベントの実行委員も募集しているので興味があれば声をかけてください！

おうめ若者カフェ



2011(平成23)年に東京都青梅市の協働事業をきっかけに発足。若者の活動の場を増やすため「若者の力をまちに」「思いを行動に」「ここに住みたいと思えるまちに」をコンセプトに活動中。団体の代名詞とも言えるシニア世代と若者世代の交流のため企画・開催する「ババコン[※]」は、他地域でも開催されるように。「青梅宿アートフェスティバルおうめ若者100人ステージ」の運営や、月1で交流イベントも行う(コロナ禍の現在は縮小中)。

WEB : <https://omecity.tokyo>



成木を知ってもらいたいので、ぜひ成木に遊びに来てください！

Facebookで成木の様子を見てもらうだけでもうれしいです！

ゆめなりき



2015(平成27)年に「成木地区を元気にしたい」人たちが発足。東京都青梅市成木地区と都市部をつなぐイベント「成木地区大盆踊り大会」をはじめ、餅つき大会や地元発見イベントを開催。成木地区文化祭では「ゆめなりきマルシェ」を開催し、活動に賛同してくれる地域の人たちの協力を得てハンドメイド作品販売、丸太切り体験や紙漉^{かみす}き体験などを提供。成木地区で開催されるトレイルラン大会や各地域の行事にもボランティアとして積極的に参加。

FacebookID: @yumenariki



相談窓口案内

生活にお困りの方

生活自立支援窓口

「生活に不安や心配事がある」「相談したいがどこに相談すればいいかわからない」など、さまざまな困りごとを専門の相談支援員に相談できます。

0428-23-5888（相談者専用直通ダイヤル）

月曜日から金曜日（祝日・年末年始除く）
午前9時から正午、
午後1時から午後5時まで



東京都若者総合センター

若ナビα

若者のさまざまな悩みに対応するための総合窓口で、都内在住・在学・在勤のおおむね18歳から39歳の方とそのご家族が対象です。

03-3267-0808（電話相談専用）

月曜日から土曜日（年末年始除く）
午前11時から午後10時30分まで



あなたの「働く」を応援します

多摩若者サポートステーション

「仕事が長続きしない」など仕事に関する困りごとをかかえる15歳から49歳までの方をサポートします。

042-513-0577

火曜日から土曜日（祝日・年末年始除く）
午前10時から午後6時まで



ひきこもりの方の自立支援

ひきこもりサポートネット

相談員が、あなたのペースで、ゆっくり話をお聞きます（匿名で相談ができます）。ご家族や支援者からの相談も可能です。

0120-529-528

月曜日から土曜日（祝日・年末年始除く）
午前10時から午後5時まで



結婚・出産・育児・介護から再就職を目指す

女性しごと応援テラス多摩

家庭と両立して働くことを希望する女性を応援する専用窓口です。働きたい気持ちがあっても一歩が踏み出せない女性のサポートをします。

042-529-9001

月曜日から金曜日 午前9時から午後8時まで
土曜日 午前9時から午後5時まで
（祝日・年末年始除く）



困りごとをかかえる子どもとその保護者のために

教育相談所

子ども（幼児から中学生まで）に関してのさまざまな悩みについて相談を受け付けています。

0428-23-2200

月曜日から金曜日（祝日・年末年始除く）
午前9時15分から正午、
午後1時から午後5時15分まで



登校支援室

学校に登校できずに悩んでいる児童・生徒（市内小中学校に在籍）、その保護者に対し適切な相談活動と登校支援を行います。

0428-24-2010

月曜日から金曜日（祝日・年末年始除く）
午前8時30分から午後5時まで



就職氷河期世代特別支援窓口

東京しごとセンターミドルコーナー

就職氷河期世代（35歳から54歳まで）の方で、非正規雇用就業経験が長い方、正規雇用就業経験が少ない、または、ない方の就業を支援します。

03-3234-1433

月曜日から金曜日 午前9時から午後8時まで
土曜日 午前9時から午後5時まで
（祝日・年末年始除く）



DVの悩みをLINEで相談

ささえるライン@東京

配偶者・パートナーからの暴力被害に関する相談をLINEを使ってすることができます。

都内在住・在勤・在学の方が対象です。
秘密は厳守されます。



行ってきました

令和5年成人の日 青梅市二十歳を祝う会

民法の一部改正に伴い、成人年齢が引き下げられましたが、青梅市ではこれまで通り二十歳を対象に、二十歳を祝う会を実施しています。2023（令和5）年は1月9日に住友金属鉱山アリーナ青梅にて式典が行われました。



式典の様子

市長、市議会議長からのお祝いと励ましの言葉や、市内中学校の先生からのビデオレターの投影などがあり、厳粛ながらも華やかな式典でした。

また、式典会場の舞台看板は誓いの言葉を務めた高橋さんの書でした。



▲昨年までは新型コロナウイルス感染症の影響で二部制でしたが、今年は一部制で開催しました。

成人インタビュー

二十歳を祝う会で司会、誓いの言葉を務めた3名に話をうかがいました。



司会
なかむら たつや
中村 竜也 さん

Q. 司会について

なんで自分なんだろうと思いました。人前で話すことには慣れていますが少し緊張しています。

Q. 普段の生活について

大学で法学を学んでいます。裁判の傍聴をきっかけに興味をもち、法曹を目指して勉強をしています。

Q. 男女平等について

学科の男女比は約1：1で、普段の生活のなかで男女が平等でないと感じることはありません。



司会
かとう なぎさ
加藤 凧紗 さん

Q. 司会について

人前で話すことが苦手なのでとても緊張しています。

Q. 普段の生活について

小中学校時代は仲の良い人として話せなかったのですが、今は話すことが大好きで、コミュニケーションを大学で専攻しています。将来は人と関わる職業につきたいと思っています。

Q. 男女平等について

優秀な男性がいるのに、女性だからという理由だけでリーダーなどの立場に優遇されることに少し疑問を感じることがあります。



誓いの言葉
たかはし かえで
高橋 華楓 さん

Q. 誓いの言葉について

最初はお断りしたのですが、色々な経験のきっかけになればと思い引き受けました。

Q. 普段の生活について

人のこころの仕組みに興味があり、大学で心理学を学んでいます。人間関係で少し悩むこともあったのですが心理学を学んだこともあり今ではそんな過去もあってよかったと思っています。

Q. 男女平等について

女子大に通っているため、女性視点やジェンダー関係の講義が多くあり、興味深く受講しています。

タイの現地でタイ古式マッサージの資格を取得した、セラピストの多田紀江代表に自社で取り組まれている活動について話をうかがいました。

■事業内容

タイ古式マッサージ・アロマトリートメントをメインとしたリラクゼーションサロンを運営しています。

ただのりえ
多田紀江代表▶



■ワーク・ライフ・バランスへの取組み

数年前までは午後10時まで営業していましたが、セラピストの出産・子育てを機に営業時間を午後5時30分までに変更しました。また、週1日だった定休日も週2日へ変更しました。お客様もお店の方針を理解してくれ、事前予約をしてくれる人が多いため、セラピストはマッサージの予約時間に合わせて店舗にいることにしています。そのため集中してお客様一人ひとりへ丁寧に向き合うことができ、お客様数は増加傾向にあります。また、子育てや家事の時間もしっかりと取れるため、公私共に充実感を得ています。



■ユネスコ無形文化遺産を広めたい



タイ古式マッサージは2019年にユネスコ無形文化遺産にも登録された指圧とストレッチが特徴のマッサージ

ですが、まだ日本ではあまりなじみがないので、タイ古式マッサージの魅力を青梅で広めていきたいと思っています。

タイ古式リラクゼーションサロン fuanfaa
所在地 今寺3丁目
設立 2018（平成30）年3月
従業員数 2人（女性2人）
WEB:<https://fuanfaathai.shopinfo.jp/>

さんかく図書室

きみが世界を変えるなら(2) 世界を改革した子どもたち



石井光太(著)
ポプラ社
ISBN978-4-591150733
「学校での人間関係」「家庭の問題」「病気」「障害」「いじめ」そして、「差別」などで悩んでいる子どもたちは少なくありません。でも、そんな状況を変える力があることに気づいていないだけです。これ

まで、多くの子どもが世界を変えてきました。この本は、その力と方法を教えてください。

若者たちのニューノーマル Z世代、コロナ禍を生きる



牛窪恵(著)
日経BP日本経済新聞出版
ISBN978-4-532264499
ごく普通の会社員・渡辺正太(49歳)。2020年夏のコロナ禍において、見た目だけがZ世代(21歳)に变身するという、ありえない事態に襲われました。なんとか20代前半のコロナ禍の「ニューノーマル」に適応しようと、悪戦苦闘する彼の姿

を通し、イマドキの若者の消費や働き方、SNS事情、恋愛・結婚や家族関係のリアルを、ストーリー方式で読み解く、「若者生活・体感型」マーケティング本です。

性別などにとらわれない平等な社会の実現を目指し
青梅市ジェンダー平等推進計画
を策定しました。

青梅市ジェンダー平等推進計画の基本理念

性別により差別されない、一人ひとりの人権が尊重される社会

市民が性別にかかわらず、あらゆる分野に対等な立場で参画し、ともに責任を担う社会

多様な生き方を自らの意思で選択・決定し、その能力を十分に発揮できる社会

青梅市ジェンダー平等推進計画5つの目標

1 ワーク・ライフ・バランスの推進と働く場における女性活躍推進

2 社会のあらゆる分野におけるジェンダー平等の推進

3 人権の尊重によるジェンダー平等の意識づくり

4 配偶者等暴力対策

5 総合的な計画の推進

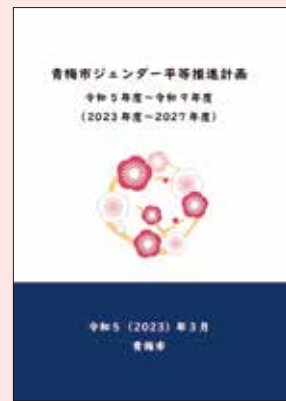
計画期間

2023(令和5)年度から2027(令和9)年度まで

青梅市男女平等推進計画懇談会
加藤めぐみ会長からのコメント

男女平等推進からジェンダー平等推進へ

青梅市の男女平等推進への取り組みは令和5年度より第7次を迎えます。これまで男女平等推進計画懇談会は、市民の皆様の声をお聴きしながら計画策定や評価に関わって参りました。第6次まで取り組んできた「人権の尊重による男女平等」「社会のあらゆる分野における男女平等」「働く場の男女平等とワーク・ライフ・バランス」の目標達成に向けて、青梅市ではさまざまな施策や啓発活動が進められてきました。第7次から本計画は「ジェンダー平等推進」と名前が変わります。これには、あらゆる人が性差によって社会的・文化的に差別されることなく平等である社会を構築する、という意味が込められています。男女を問わず一人ひとりが尊重され生き生きと暮らせる社会を可能にするためには、これからもたゆまぬ努力が必要であると考えています。



計画の全文は市ホームページで
ご覧いただけます。



編集後記

●ジェネレーションギャップを想定した取材でしたが、若者のチャレンジを地域が見守るエピソードばかりで良い意味で予想を裏切られあたたかい気持ちになりました。(岡田)

●青梅市の若者たちが主体的にさまざまな取り組みを行っていることを知り、とても良い刺激になりました。(小高)

よつばの手紙は「青梅市男女平等推進計画」にもとづき男女平等参画の実現を目指し、編集・発行しています。
ぜひ、皆様のご意見・ご感想をお寄せください。



◀よつばの手紙バックナンバーは市ホームページで

●取材を通じて青梅市内の若者たちが多世代交流しながら活躍していることや、ISBN(国際標準図書番号)というものがあつたことを知りました。(木崎)

●仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の実現に向けた取組みを進めていくことで、若い世代が活躍する機会が増えると感じました。(土肥)

よつばの手紙 第28号

発行 2023(令和5)年3月

青梅市市民安全部市民活動推進課

電話 0428-22-1111(内線2321)

編集 男女平等情報紙編集委員会

(岡田未来 木崎典子 小高優人 土肥茉莉奈)